



<議事要旨>

(1) 開会

◇大阪府 雇用推進室長 道籬 佳久

- ・29年4月の有効求人倍率が全体で1.65、製造業では2.54倍となっており、人材不足がますます進んでいくと思われる
- ・平成29年度も第1四半期が終わったので、このような機会では情報交換をする中で、予算要求にも反映いただければと考えている。また、各機関の連携して取り組むことで相乗効果を発揮できればと思う。

(2) 第1四半期の取組み状況及び今後の予定について

各団体より標記について資料に基づき説明後、意見交換。

<主な発言>

大阪府ものづくり振興協会：

- ・ダイカスト業を営む業界団体と連携して「ダイカスト業界バスツアー」を実施予定。今回初めての取組みであり、継続的に実施していきたい。高校との調整は大阪府と連携して進めているところ。
- ・当協会が運営しているウェブサイトにおいて、会員組合が求人情報を掲載できるようなページを設ける予定。

商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課：

- ・総会などでお会いする企業には必ず人材確保に関する質問をするようにしているが、人手が足りていると答える企業はほとんどない。「社内で一番若い人が40代」「ハローワークに求人を出しても応募がない」など人材確保に関する課題をたくさん聞く。
- ・最近、人材不足に対応するためにIoTを導入し、生産性の向上を図るという話も聞くようになった。

大阪府総合労働事務所：

- ・大阪人材確保推進会議は「業界のイメージアップ」と「雇用の促進」という二本柱で取組みを進めているところであるが、総合労働事務所は「業界のイメージアップ」を図るために企業への啓発や相談を行っている。
- ・11月、12月には製造業者の多い東大阪市と八尾市で職場環境の改善に向けた相談会、セミナーを開催する。開催にあたっては労働基準監督署や地元ハローワーク、地元商工会議所とも連携して実施させていただく。

商工労働部雇用推進室人材育成課：

- ・当課では大学生を対象としたインターンシップのコーディネート事業を実施している。受入れ先企業は製造・運輸・建設業から31社のエントリーがあり17名のマッチングが成立している。また、製造業からは8社エントリーがあり、4社6名の学生のマッチングが成立している。
- ・製造業界へ就職するための基礎的な技能を習得する職業訓練を実施する。

商工労働部雇用推進室就業促進課：

- ・8月より職場環境ワークアップ計画を実施する。参加企業を募集しているので、
- ・製造業の基本的な仕事内容や、企業探しのポイントを伝えるセミナーを毎月2回程度実施していく。10月からは企業の従業員に登壇していただき、自社の魅力や仕事のやりがいなどについてお話していただく予定。業界団体様には、登壇いただく企業の推薦をお願いしたい。

(公社)大阪府工業協会：

- ・当協会には約1,200社の会員企業がいる。求職者との接点は少ないので、業界のイメージアップという観点で本会議に参加できればと思う。
- ・次代のものづくりを担う人材を育成することを目的として、機械工学系の基礎知識を1年間かけて学ぶ長期講座を実施している。
- ・労働生産性の向上と、人材育成にもつながることを意識して、5Sを活用した職場改善セミナーを実施予定。

教育庁 高等学校課：

- ・最近高校生に対する求人数が多いので、生徒は選り好みしている状況。
- ・高校の中にも、進学を考える生徒と就職を考える生徒が混じっているため、一律的な支援というのはなかなか難しい。
- ・高校の進路指導担当者も多く企業を訪問しなければいけないので、企業に学校に来ていただいて話をしてもらおうというのが良い。
- ・高校は高校で、入学してくる生徒を対象としたセミナーを開催したり、進学フェアを開催するなど、学校の魅力を上げる努力はしている。

(3) OSAKA しごとフィールドに設置する魅力発信ブースについて(説明：事務局)

- ・OSAKAしごとフィールド2階に、製造・運輸・建設業界の魅力を発信するブースを作成する。
- ・求職者に情報着信するという観点から、ビジュアル面を重視したブースにするため、企業の若手従業員へインタビューを行い、それをパネル化して展示する。

- ・現在、運輸業界のみ完成しており、8月中に製造業も完成予定。

(4) その他（説明：事務局）

- ・次回の大阪人材確保推進会議は来年5月を予定している。